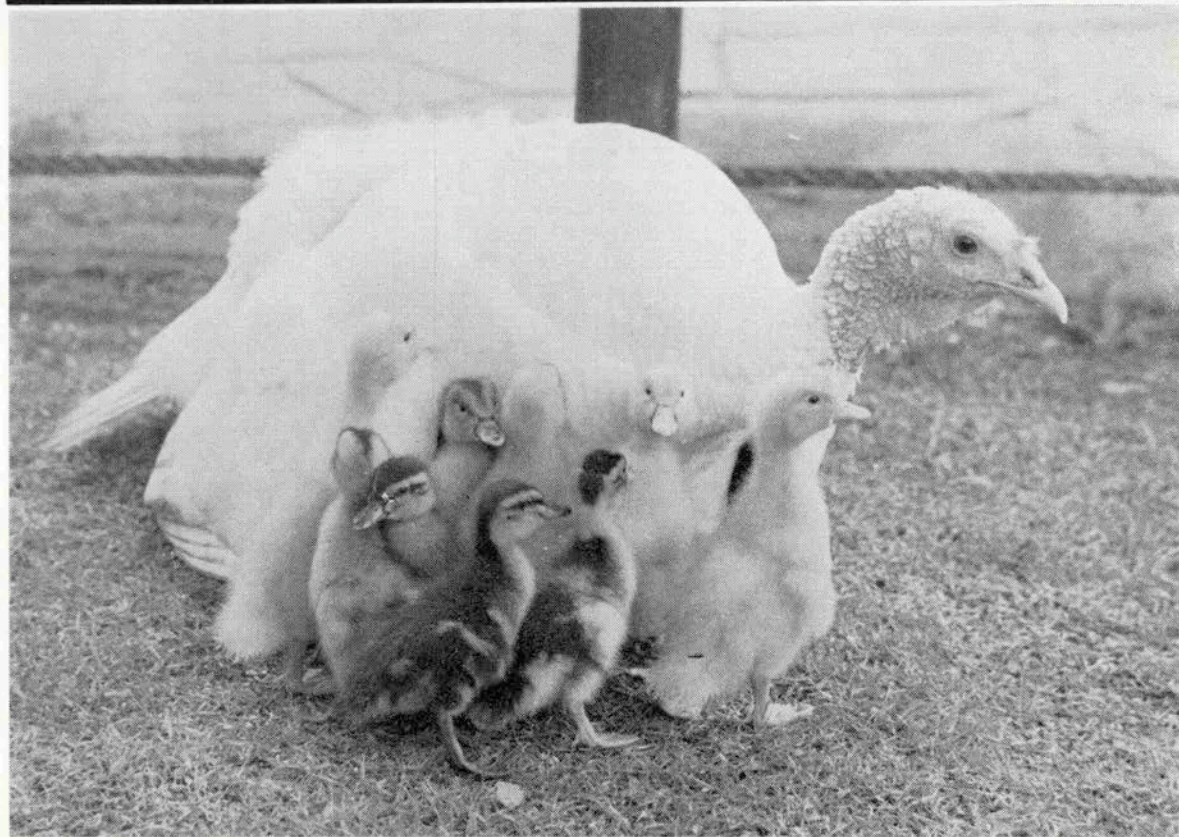




動物園飼育日記 — 93 — 亀井一成



ないしょ話シリーズ<14> ママは泳げない



衰れたことだが、鳥は自分の卵を区別する能力をもっている。たといそれが自分の卵であっても、巣につく。つまり卵を抱くという行為を起こさせる内的刺激がない限り卵を産み続ける。だから卵をとりのぞいてしまうと、かなり長いあいだ産み続けるのである。しかも、産卵期に入っていない他の鳥がその卵を見つけると、単なる餌としてクチバシで割って食べてしまうことさえあるのだ。しかし、正常な場合には卵を産む以前に内的な変化が起こっているのだから、ある数の産卵がすすむと、急に産卵をやめ巣につき卵を抱きはじめるのである。

□ 生みの親

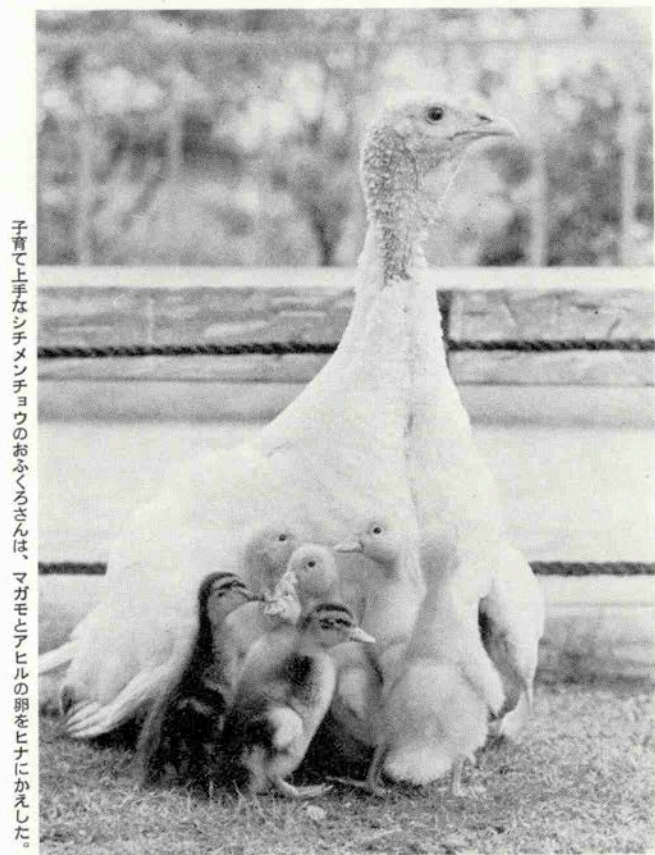
ところでその内的刺激がなんであるかは、脳下垂体から分泌される泌乳刺激ホルモン（プロラクチン）だといわれている。しかしながら、そうした内部刺激ホルモン

もあるといえる。

しかしながら、何をどうしても反応を示さず次々と卵を産み落としたまま寄りつかない、つまり、産み捨て鳥もでてくる。そこで、しかたなく拾い集めた卵を人工ふ化させることになるのだが、それがまた、ふ卵器の操作と雛を育てる手間にも予算的な制約が生れてくるし、しかも、人手で育った鳥はなおさら家禽化することも考えられるわけだ。そこで私は失われつつある彼等のもつ「母性」を何かの形でひきだしてやりたい。いやそのうるわしい母鳥の姿を見せてやりたい、との考えもあった、子育ての母体として「就巢本能」が殊につよく、しかも昔から母鶏抱卵に適しているといわれているシチメンチョウを育ての親に選んだのである。

□ 育ての親

だけのものではないことも事実であって、外部刺激のない場合にはせっかくの卵をだめにしてしまうこともよくある。その実例が飼育下の鳥つまりカモ、ガチョウ、それにクジャク、キジなどである。そこで飼育ケージ内には座りこめる植えこみや巣箱を設けてやり、産卵のはじまった鳥に精神的な落ちつきを与え、巣箱内では座った体に卵からうける視覚的そして、触覚的な外部刺激を受けさせ、巣につかせる。よう、うまく扱ってやる



子育て上手なシチメンチョウのおふくろさんは、マガモとアヒルの卵をヒナにかえした。



泳ぎ始めたヒナたちを追って、泳げないシチメンチョウが水の中へ。

有精卵はたとえ汚れていようが水洗しないでそのまま通風のよい冷暗所に保存しておくことにしたが、その間にも親鳥になるシチメンチョウに完全な「果ごもり」をさせておかなくてはならない。たとえ巣についた鳥であろうと、卵のない空っぽの巣箱では座りこんでも卵からうける外部刺激がないため、長続きせず途中で立ちあがってしまうのだ。それで、せともの擬卵を抱かせたりシチメンチョウ自身の卵を抱かせておき巣箱になじませいよいよ抱かせるときにはじめて、かわいそうなことだが、卵を人替えたのである。

このシチメンチョウは体重7キロ、ニワトリの三倍、首といい、ずしりした太い腰つき、その姿からでは、たしかに子育て上手なおふくろさんに見えた。しかし、たったひとつ、足の大きなことが卵を踏みつぶさないだろうかと気がかりになったが、挫えめとはいえマガモ10、アヒル5、計15卵をシチメンチョウに抱かせはじめ

たのが、三月末だった。

高サ50×長サ50×1Mの抱卵箱は雨のかからない静かな場所におき、すっぽり布切れをかぶせ一日一回のぞく程度で、水と餌は三日に一度与えたが、口にしたのは一週に一回、しかも水を飲んだだけ、ふ化するまでの二十八日間ほとんど飲まず食わずの抱卵である。

しかし、それは内分泌的な作用から起きる機械的な母性だといってしまえばそれまでだが、第二十八日目、羽は抜け落ちヒフが露出した母鳥の暖かな下腹部から、雛のふ化がはじまった。一羽そしてまた一羽とクチバシで「から」を打ち鳴らし、ひょっこり顔をだす小さな命の誕生には、長かった抱卵の苦しさも忘れるというものである。

そして、ピリリと胸や下腹部から伝わる雛の動きが外部刺激となって母性はさらに高められ、抱卵から「育雛」という生活がはじまったのである。

□ 悲しい習性の断絶

15卵中、うまくふ化したのはマガモ5、アヒル4、計9羽だったが、生後10日の出来ごとである。それまで一度も水辺に近寄らなかつた雛たちが、足早にフラミンゴ池めがけてかけだしたのだ。何時ものように足で虫を掘りだしては雛に食べさせていた育ての親であるシチメンチョウはあわてた。水鳥である雛たちが水にさわれザンブと泳ぎはじめたら、何んと我が身がシチメンチョウであることを忘れたように、泳げない体を胸までつかって雛たちを陸へ連れ戻そうと必死の姿であった。

シチメンチョウの雛であれば考えられない状況だろうが、まさにこの冷やかなプールの中での育ての親との悲しい習性の断絶である。しかし、水鳥の習性をとり戻させるためにはこの親を分離することもいたしかたないことではあった。だが、その育ての親は、どこまでも、そして何時までも雛の後を追ひ、深みに入ろうとする雛を呼び戻し続けていた。

〈王子動物園学芸員／写真も〉

おしゃれ心は強情なもの



婦人帽子

マキシン

マキシンの帽子のおもめは全国有名百貨店でどうぞ

神戸・トアロード 東京・銀座3-2
TEL (078) 331-6711~3 TEL (03) 535-5041

優しさの 表情を……



顕微鏡・天体望遠鏡・航海計器・光学器一般

服部メガネ店

神戸・大丸前 TEL 331-1123

ひとつの時に生きる二人のための
ロンジン・ペアウォッチ



ロンジンのペア・ウォッチは二人の心を結ぶ
ロマンチックな時計です。
最も種類がそろっているロンジンのペアウォッチ
からお好みのタイプをお選びください。

LONGINES

特約店



美甲時計店

元町店・元町三丁目 TEL331-1798

三宮店・さんちかファンシー・タウン TEL331-8798

LONGINES

Ref. 8351 ¥47,000

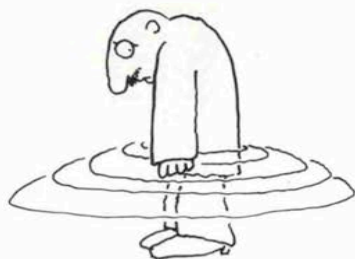
Ref. 8352 ¥47,000

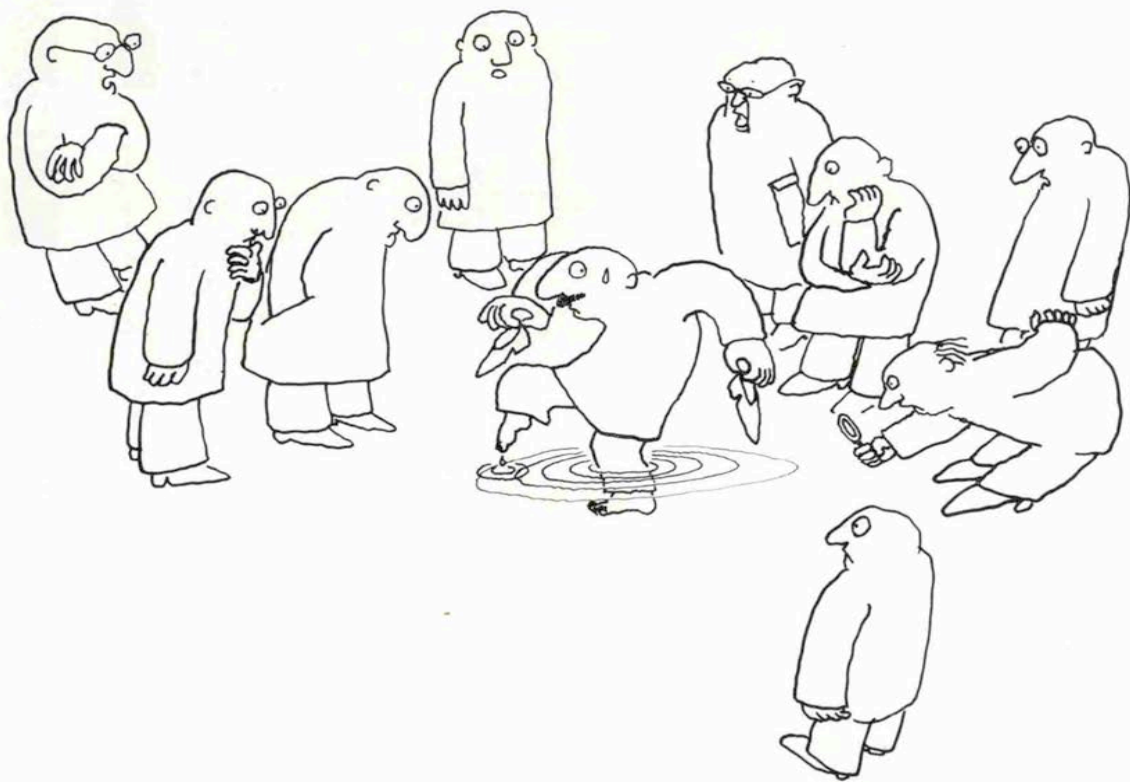


阿比線

VOL. 2 波紋
岡田 淳









淀川立見席

25

スウェーデンの

「細雪」はこわい

淀川長治

〈映画評論家〉

イングマール・ベルイマンの一番新しい映画。日本では彼の初めての色彩映画。

その色彩美は目をうばい、ここに登場の三姉妹の女人像は胸をえぐる。

ベルイマンといえば「野いちご」「沈黙」すべてカミソリの刃で肌をさす感じ。

生と死と性慾。この人間の逃れ得ぬ神の宿題をまっとうから突きつける。

そのベルイマン五十五才の新作。時刻を示す金の、それもしさやかな金属音でタイトルのスタッフ名がつぎつぎと登場する。

ファースト・シーンは時計の秒針を目の前まじかに見るその針の動き。

「時」から始まり。「死」が目前の三十七才の独身女の病苦のあえぎからスタート。

題名は「叫びとささやき」。十九世紀末スウェーデン郊外の豪邸。秋ふかく冬迫る。

病女アグネス（ハリエット・アンデルソン）を姉のカーリン（イングリット・チューリン）、妹のマリア（リヴ・ウルマン）が見舞いに。

姉は三十九才。五人の子を生むが性慾を憎悪。二十才年上の外交官の夫は今もそれを妻に求め、彼女はガラスの破片で、夫のまえて自分の性器を傷つけてベッドを血で染めた。

妹は若い商人の妻。小さな子供が一人。しかし浮気がたえず姉の医者とも早くから通じ、姉アグネスの病態よりもその医師に近よって今も愛を迫る。医師はその彼女を鏡の前にすえて彼女の肌の荒れを示す。

この三女マリアが幼児には母の愛を独占した。その母は二十年前に死に、父はもっと前に死んでいる。

広く沈んだこの土地この屋敷は今、夫を持ち得ぬ二女のアグネスが守る。しかし病苦は死の近づくのを本人にもさとらせる。

ここに……もう一人……アンナという召使がいる。

かつて子供を持ったが三才で病死。その世話のすべてをアグネスがした。

アグネスの孤独と召使アンナの、その同年輩の女の孤独が二人を結ぶ。

アグネスが病苦にあえぎ絶叫の、そののたうちまわる悲惨。長女と三女はその病室を避けた。

そんなとき召使アンナは駆けつけベッドに乗りあがり胸をただ腰をまくり、その乳房、その胸、その足……その素肌で主人アグネスを抱く。アグネスはアンナの肌をさわり抱きしめ、母の愛のこころを受けながら絶叫のあえきを静める。

三女マリアの若い夫は妻と医師の間を早くから気づきナイフで胸を刺すが、傷は浅く妻のマリアがその傷の手当てをした。



▶ 病苦にあえぐアグネスを召使アンナが抱きしめ苦痛を静めてやる



▲ 姉カーリンは夫への軽蔑と人生に対する敵意を隠し持っている



▶ 末妹マリアは自分の魅力に執着し、今も愛と快楽を求めてやまない



▲ 病状が悪化したアグネスを見舞いに姉妹は久しぶりに屋敷に集まる

この女たちの、この屋敷の部屋はランプの光りに静まって、かすかに悪魔の翼の音をきく感じ。その壁紙はバラ色の深い赤。しかしそれは血の色とも見えた。白い乳色のランプのガラスが、悪魔の中の天使のようにランプの光りにはえる。

もだえて、あえいで、叫び狂って、アグネスは死んだ。僧侶ただ一人が枕辺で祈り、死せるアグネスの手を合わせて黄色のバラ一輪を持たせた。

長女も三女もその通夜に客を呼ぶでもなく、夫たちだけで早くもこの屋敷の処分のことを考えた。

その夜明けまえアグネスが再び呼吸を戻し、うめき声をだした。姉妹は別室へ逃げかくれ、召使アンナがころがりこんでアグネスを抱きしめた。

しかしこれが死の本当の最後となった。土地と屋敷を売るために相談が始まった。そして姉と妹とその夫たちはこの屋敷を去る。

召使アンナには何がしの手当てを払うことでこの屋敷から去らせることにした。アンナはそれを断った。この屋敷が売れるまでここにいることだけを条件にした。召使のアンナはいま静かにアグネスの日記を読む。何度も読んだその一頁。

姉が来た、妹も来た。三人でお庭を散歩した。白い服と白いバラソルのお揃いで。三人で椅子ブランコに乗った。召使のアンナが嬉しそうにそのブランコを押してくれた。庭も林も春のやわらかさで美しい。

アグネスただ一度のこの幸せを、今アンナはかみしめるよう回想した。

三姉妹と召使。この四人の女人像を描いてベルイマンは、美と残酷の女の四重奏をかなでる。しかもこの四名の女優はすべてベルイマン私生活のそのひとときの妻であった。悪魔と神の、その二つを身につけたベルイマン。

女体百景

《19》

H・ジュニア

え・浅野 俊一

うつぼ女

鰐うづはは、水族館の水槽の底で、蛇のようにかま首をもたげ、にこりともせず、動こうともせず、じっと観客を、白眼視して、にらみつけている奴。

広辞苑には「鰐うづはは口は大きく、歯は強大、岩の間に住み、性は凶暴で、はげしく噛みつく」と、出ています。うつぼ女は、概して小型で、細い目に特徴があり、髪を長くのばすと、豊かで美しい直毛だから、すぐ分ります。

自殺志願者、イラスト志願者にこのタイプが多く、若いうつぼは滅法お酒が強いのです。蛇に似ているだけあって、やまたのオロチの血筋かと感心させられます。

かの有名な西鶴五人女の中で、お夏清十郎にゆかりの室津の港に、まだ廓の名残りがあつた終戦直後のお話でございませう。

その頃、私は、姫路の高等学校に籍を置き、若さにかまけて、夜毎、アルコールのお世話になり、たまに好きな絵など書いて、灰色の青春を謳歌して居りました。

「室津の廓に、最近、メチール飲んで死にそこなつた女

がいる」

という噂を聞いて興味を持ち、私は、その娘会いたさに登楼したのでございます。当時の私もやはり死に憧れていましたから。

港の見える寒々とした彼女の部屋の壁には、彼女の好きな男性流行歌手の海パン姿の大きな写真がはつてありそれをにらんで、彼女は、センペイぶとんの上で、自分のクリトリスを右指で刺戟して身をくねらせ、左指で乳首をおさえ、身をのけぞらせて、エクスタシーに達して見せてくれました。

「私は、男嫌いで、客をとるより、ほんとうはオナニーの方が好きなんだ」と言うのです。しかし、いつもあの辺が痛いとおさえていました。

私は、一目彼女を見て、「鰐女」と直観しました。

これまた、不思議なことに、彼女の源氏名が「親おつぼ」だったので。食虫植物の「親蔓おつぼ」の「親」です。何という意味深な偶然の一致でしょう。上の顔が「鰐」で、下の顔が「親」というのでしょうか？

彼女は、滅多に笑いません。笑う鰐はいないのでですから。笑わないところが、鰐の鰐たる所似なのです。

しかし、たまには、笑うのです。というより、顔をゆがめると言った方が正しいかもしれません。そんな横顔がたまらなくいいのです。すっかり、私は気に入りました。

「あんたは美しいよ」

「美しいとか、可愛いとか、私、そんなこと二辺も、人に言われたことないわ」

「そんなことないよ」

「あんまり笑わないから、気味悪いとは言われるけど……私、皆に誤解されてるらしいわ」

「いや、君の顔は、絵になる、世界の淋しさを代表してるみたいで、それがいいんだなあ、実に美しい顔だと、僕は思うよ、一度描かしてもらおう」

「それは嬉しいけど、大体、私以外の人、ベチャクチャ



「二年前」

「病氣？」

「心臓発作、急死した夜も、父は女のところへ行っていて、帰って来なかった。私一人で御通夜したんや、」

「けしからん、」

「ほんまにけしからん奴っちゃ、母の葬式がすんでから、女を連れて帰って来て、これから、みんな仲好うやってゆこ、なんてぬかしよる。ほんまにしょうのない奴っちゃ、」

「俺と、彼女の父と、一体何処が違うというのであろう俺も、彼女の父と大差ない一介の男ではないか？」そう思うと、たまらない自己嫌悪が私を襲うのでした。

「今こんなことしてるけど、私、ほんとは、何か打込める事、見つけてしたいんやねん、そやけど、何かするには金がいるし、寝てたら、お金いらへん、そやから私寝てるね、」

「万事休す、」

未来のすべての営みが空しく私には思えて来ました。

「よし、メチール買つといで、メチール思いきり飲んで、一緒に死のう、」

「ほんと？」

「ほんまや、」

その頃、安酒にはメチール・アルコールが時々、混入されていて、目が散るといわれ、運悪ければ死亡したのです。そんな記事が、よく新聞を賑わせていました。

その夜、二人は、前後不覚になるまで飲んで寝てしまいました。安らかな死を期待して……。

翌朝、私は、ボンボンと、船の音で目をさましたのでございます。しかも、まだ、目が見えるではありませんか？

横に寝ている鰻の顔に、うつすら朝日がさしています。突差に私は、うつほの生死を氣遣いました。御安心下さい。うつほも静かないびきをかいていたのでございます。鰻は、そんなに弱い魚ではございません。

しゃべって、皆、人形みたい。皆芝居してるみたい。皆よく芝居出来ると思うわ、私芝居したくない。だから寝てるの、何もせんと、何時も寝てるの、ああ、死にたいわ、寝たままで死にたい、

「僕も、おんなじや、僕も何もしようない、ふとんかぶって寝たいだけ、」

「始めて話の合う人に会えて嬉しいわ、」

「僕も嬉しい、」

こんな彼女をいいことに、私は、誰とも話をしたくない時、しかし、女を抱いて、ただじっと寝たいだけの時、ロングで彼女のごやっかいになりました。

彼女は、私に抱かれて、身の上話をしてくれました。

「私の父は、私が物心ついた頃から、殆んど家に居なかったから、今でも私淋しさにはなれてるの、」

「お父さん何してたの？」

「何って、女遊びして、殆んど家に帰って来なかった、」

「お母さんは？」

「私の十八の時死んだ、」

「最近だね、」

ぴっと・いん



★おめでとうさん！

花隈のきれいだころが
始業式
すっきりと晴れわたった



“今年もよろしく”とこあいさつ

一月七日の午後一時から、
花隈検番芸協同組合で恒
例の始業式が行なわれた。

“おめでとうさん”今年も
よろしく、と花隈の芸者衆
が新年の挨拶をかわしなが
ら集まった約百人のお客さ
んにさっそく日本酒のサー
ビス。

舞台では長唄「鶴亀」と
常磐津「松島」が演じられ
日本情緒たっぷりの花隈の
始業式に盛んな声援と拍手
がおくられた。

★ステッキ・レストラン

南蛮館オープン
阪急三宮駅西口前のレイ
ンボープラザビル七階に、
スパニッシュスタイルのス
テッキ・レストラン「南蛮
館」がオープン。

スペイン風のインテリア
神戸がもつエキゾチシズム
のラディカルな情感をただ
よわせる、あのアンダルシ
ア・アンテーク。そんなス
パニッシュムードのなかで
美食家ならずとも一度は口
にしたくなるような南蛮館
自慢の料理のア・ラ・カル
トをあなたも一度ぜひどう
ぞ！



落ち着いた南蛮館店内

落着いたテーブル席のほ

かにカウンター席もある。
神戸らしいステッキ・レス
トランの嬉しいオープン
だ。正午から夜十時まで。
年中無休。☎三九一―三三
〇九

★ピサ同様よろしく

ジャズクラブコロコバド
学生たちに人気のあるジ
ャズ喫茶ピサが、神戸では
初めてという本格的なジャ
ズクラブを開いた。ソフィ
ステイケートな空間演出と
ジャズ。ピアノやバンドの
演奏を毎夜やっている。

オープンだがいちはうメ
ンバーシップ制、会員は年
会費一万円で特別な催しに
優先的に招待される。

コロコバド―北野町三丁目アニルド
マニション ☎(〇)一〇四〇
P・M5:00/A・M2:00

★ちよっと型やぶり？

サンホセ

昨年NHKのステージ101
で活躍していたというマス
ターと、店を手伝っている
女の子たちは音大の仲間。

お客さんもいっしょに楽し
くやろうと店のピアノは解
放されていて、スナックタ
イムにはプロの演奏もあ
る。みんなで考えたという
名もないお料理などが出て
くるのも愉快。美人の客が
多いという巷の噂も。

山本通一丁目小寺マニション1F
☎(〇)一三〇四 A・M2:00
/A・M11:00 コーヒー一五〇円

●神戸うまいもん
とドリンキング

★バブレストラン

ダニーボーイ

神戸市生田区中山手通二丁八
番(〇七八)一三二一六五六

昨年十二月十九日、中
山手通りに珈琲の「にし
むら」の姉妹店である英
国風スタイルのバブレス
トラン「ダニーボーイ」
が「にしむら珈琲店」の
道を狭んだすぐ西隣り角
にお目見えした。



華麗なダニーボーイ店内

店内は赤のじゅうた
ん、椅子、ランプで統一
され、英国より持ち帰っ
た数々の本場のインテリ
アが格調をそえている。
中央にはビクトリア調の
コの字型のカウンターや
テーブルがあり、気楽に
お酒やにしむらの珈琲を
飲み、ホームメイドの洋
風うどんやピザ、まぜご
はん等、西洋のおそうざ
いの味が楽しめる。何よ
りも家庭的なヨーロッパ
料理が味わえるのがい

寒い季節です。

でも、ここ千里は春の暖かさ。

今宵も、和やかなひとときが、
外の寒さを忘れさせてくれます。



鹿島建設の小松原所長他のみなさん

CHISATO

阪本 千里

生田・東門筋東新ビル地階

☎ (331) 4 7 3 0

あめつちに
独り生きたる
ゆたかなる
心となりて
挙ぐるさかつぎ
牧水



★おしゃれをしたらサヴォイで飲もう！

カクテルラウンジ

TEL 331-2615

高架山側 テキの店北

SAVOY

サヴォイ

美術 古剣 刀
董 骨 画 書



ブロンズライオン（フランス製）¥600,000

鑑定 買入

研 白鞘 拵 御承処

神戸市生田区元町通6丁目25番地

刀 美
古 劍
骨 董

美術 元所

〒650

TEL078-351-0081



呉 邦 陳 磯

みよーや

神戸店 大丸
電話 神戸 (331321) 三三四八番
大阪店 阪神百貨店三階
電話 大阪 (345) 九五八四番
姫路店 やまとやしき百貨店四階
電話 姫路 (23) 一二二一番